

# 和光市国保ヘルスプラン(案)

令和3年1月14日全員協議会  
和光市保健福祉部健康保険医療課

# 和光市国民健康保険ヘルスプラン(概要)

## ヘルスプラン

国保運営を行う上での基本的な方針

国民健康保険事業計画  
3年  
(第2期:  
R3-R5)

・医療費分析  
・医療費推計  
・税率設定

国民健康保険保健事業  
実施計画  
6年  
(第2期:  
H30-R5)

健康医療情報  
を活用した保  
健事業の内容

特定健康  
診査等  
実施計画  
6年  
(第3期:  
H30-R5)

メタボの予防、  
改善への取  
組

## 基本理念・目標

健康寿命の延伸と安定的な国保運営の実現

## 基本方針

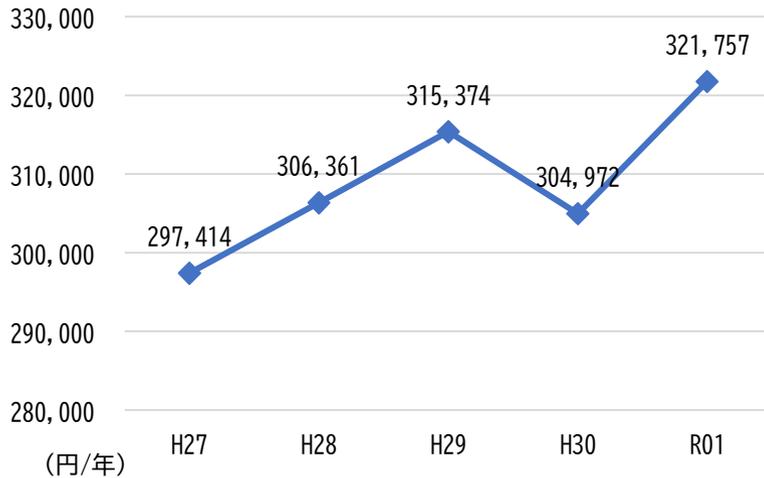
- 1 医療費の要因分析による課題の明確化
- 2 医療費適正化に効果的な保健事業の推進
- 3 保険者努力支援制度の積極的活用並びに国民健康保険制度の適切な運営
- 4 被保険者の本来負担すべき税額の明示及び将来の財政状況を考慮した税率の設定

## 構成

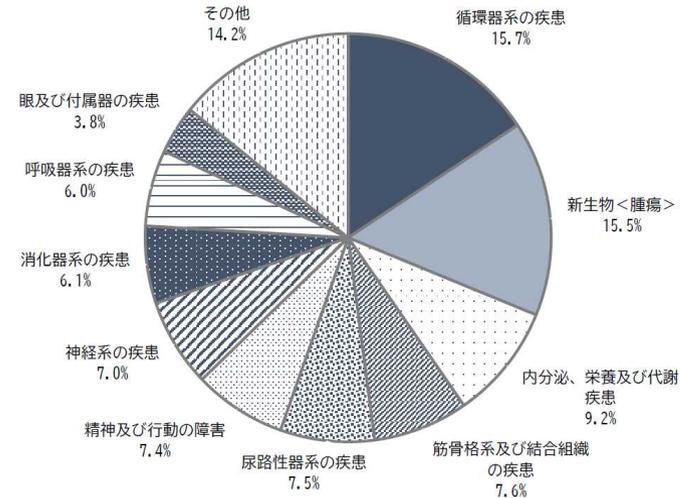
- 第1章 基本的事項
  - 第1節 計画の趣旨
  - 第2節 計画期間
  - 第3節 実施体制・関係者連携
- 第2章 計画の理念
  - 第1節 基本理念・目標
  - 第2節 基本方針
- 第3章 現状の整理
  - 第1節 保険者等の特性
  - 第2節 主な疾患に関する分析及び介護保険との関連
  - 第3節 主な保健事業の現状
  - 第4節 データヘルス計画に係る考察
- 第4章 分析結果に基づく課題・施策の方向性
- 第5章 施策の展開
  - 第1節 保健事業の推進
  - 第2節 保険者機能の強化
- 第6章 将来推計
  - 第1節 被保険者数推計
  - 第2節 医療費推計
- 第7章 国保財政運営の方針
- 第8章 保険税の見込み
  - 第1節 保険税必要額推計
  - 第2節 保険税率設定における方針
  - 第3節 新たな保険税率
  - 第4節 財政推計
  - 第5節 保険税算定フロー

# 国保の現状

## 被保険者一人当たり医療費



## 疾病分類別医療費割合(大分類)



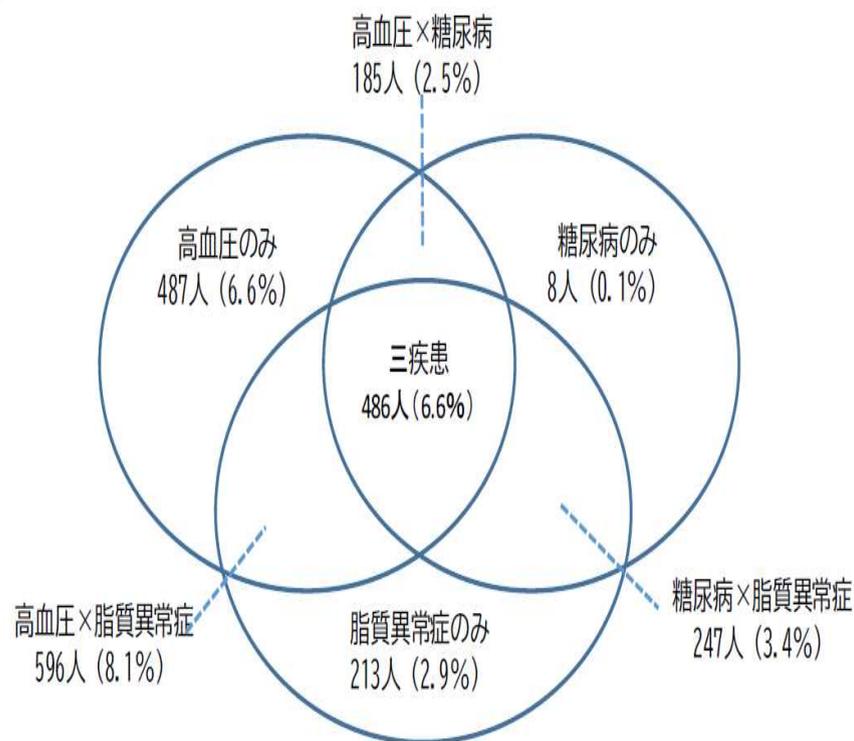
1. 一人当たり医療費が増加していく一方、被保険者数の減少等により、保険税収入は年々減少している。
2. 入院医療費は、循環器系疾患、新生物、外来医療費は内分泌、栄養及び代謝疾患、新生物が占める割合が多い。
3. 国保特別会計は、歳出(支出)のための歳入(収入)が不足しており、一般会計からの法定外繰入を行い、国民健康保険運営を行っている。

# データ分析から見た健康課題

1. 脳心血管疾患等が重症化した者には、高血圧と脂質異常症の併発等のマルチリスク者が多い。

2. 令和元年度の特定保健指導該当者は、男性が約21%、女性が約7%。メタボ非該当の有所見リスク者も約3割程度存在する。

マルチリスク別人数と割合

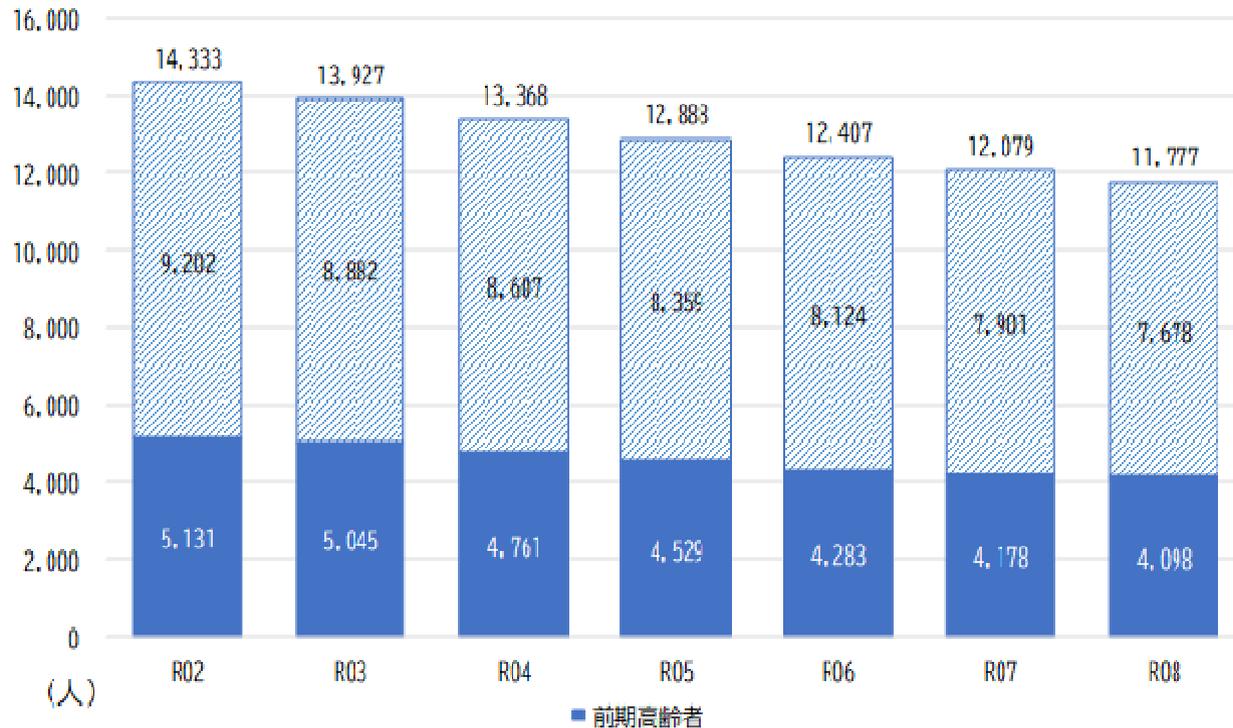


# 課題解決に向けた対策

1. 脳梗塞、心筋梗塞等による入院発生及び再発予防（生活習慣病リスク改善対策）
2. 血糖・脂質・血圧の有所見値を複数合せ持つマルチリスク者の早期改善、重症化予防（特定保健指導、生活習慣病リスク改善対策等）
3. 糖尿病性腎症の重症化による人工透析移行防止（糖尿病性腎症重症化予防対策事業等）

# 医療費推計など

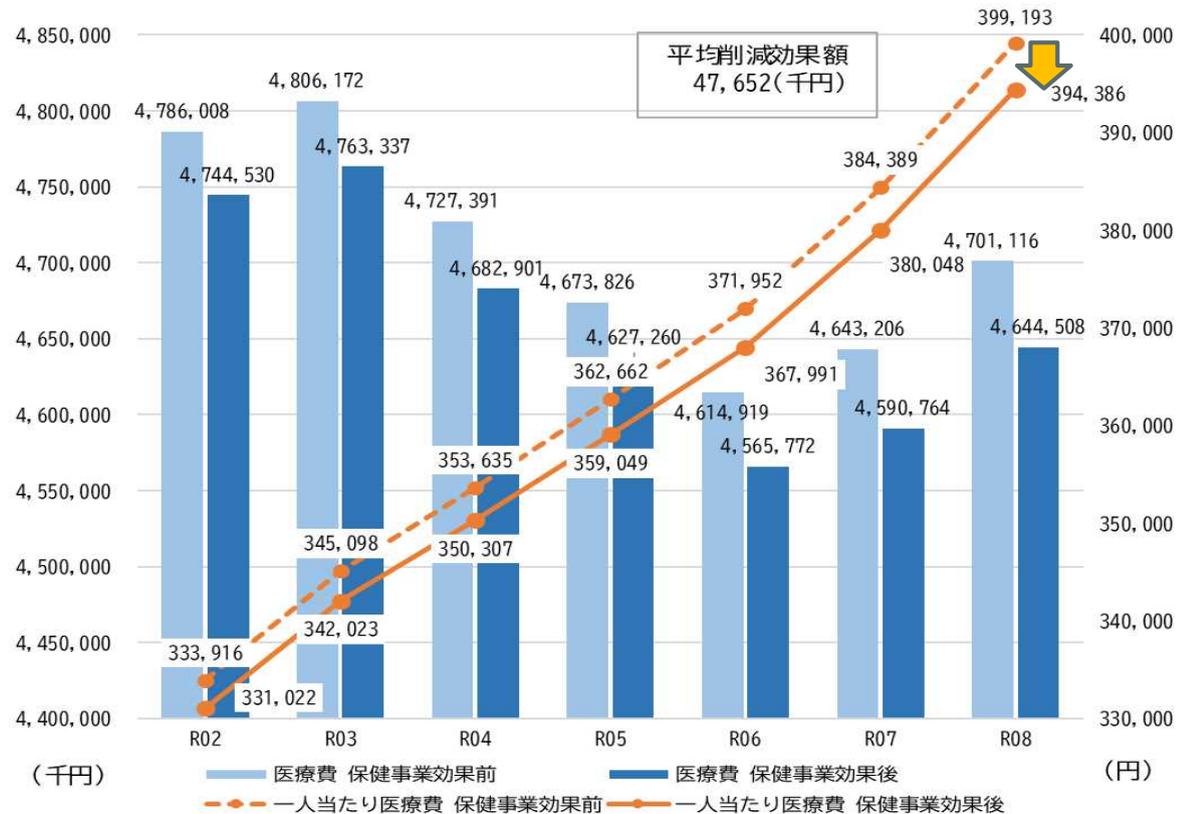
## 被保険者数推計



被保険者数は、年々減少し、特に、団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行する令和4年度から令和6年度にかけて大きく減少します。

# 医療費推計など

## 医療費推計



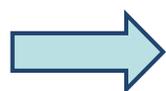
- ・一人当たり医療費は年々増加しますが、保健事業を実施することにより、一人当たり医療費の増加を約1%抑制できると推計されました。
- ・団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行する令和4年度から令和6年度にかけて医療費総額は減少します。

# 和光市国保財政運営の方針

1. 3力年に1度、保険税率の見直しを行います。
2. 効果のある保健事業の実施により、医療費の増加を抑制します。
3. 法定外繰入金を削減します。
4. 財政調整基金を一定額確保します。

# 納付金・保険税必要額 (現年度)

単位:千円		R03	R04	R05	R03-R05合計
納付金(一般分)		2,044,399	2,021,208	2,005,167	6,070,774
調整 (+)	出産・葬祭費	38,397	37,359	36,351	112,107
	保健事業	110,313	110,313	110,313	330,939
調整 (-)	過年度保険税収納額	100,000	100,000	100,000	300,000
	市町村向け交付金	50,800	50,800	50,800	152,400
	法定繰入金	227,500	221,389	215,461	664,350
	諸収入	10,000	10,000	10,000	30,000
保険税必要額		1,804,809	1,786,691	1,775,570	5,367,070



今後は、保険税必要額(3年間)をどのような財源構成で運営していくのかを検討する必要がある。

# 和光市国保税率設定における方針

1. 一人当たり保険税額を現行で見込める保険税額の約7%増となる税率改正を行います。
2. 被保険者の負担軽減のため、法定外繰入金を一定額繰り入れます。(3年間で4.5億円)
3. 被保険者の負担軽減のため、基金を活用します。(1及び2を行っても生じる不足分は基金で賄います。)

# 保険税見込み

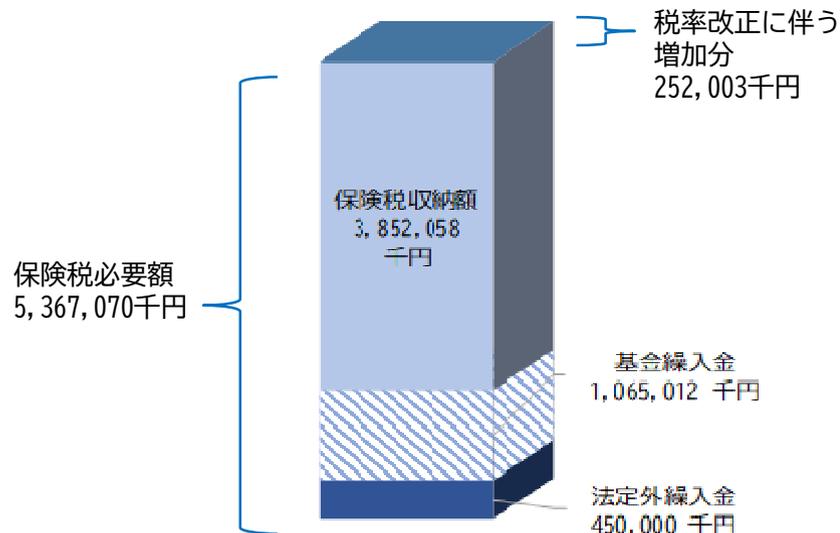
## 保険税率改正案

		改正前	改正案	現行との比較
医療給付費分	所得割 (%)	6.9	7.2	0.3
	資産割 (%)	12.0	12.0	—
	均等割 (円)	16,800	18,000	1,200
	平等割 (円)	18,000	18,000	—
	課税限度額 (万円)	61	63	2
後期高齢者支援金分	所得割 (%)	2.0	2.2	0.2
	均等割 (円)	7,200	9,000	1,800
	課税限度額 (万円)	19	19	—
介護納付金分	所得割 (%)	1.2	1.7	0.5
	均等割 (円)	7,200	9,000	1,800
	課税限度額 (万円)	16	17	1

※ 課税限度額については、法律の改正に基づき、法定限度額となるよう、毎年度見直しを行います(法定限度額改正の1年遅れで実施)。

# 財政推計

単位：千円		R03	R04	R05	R03-R05合計
支出	保険税必要額	1,804,809	1,786,691	1,775,570	5,367,070
収入	保険税収納額	1,335,082	1,281,495	1,235,481	3,852,058
	法定外繰入金	150,000	150,000	150,000	450,000
	基金繰入金	319,727	355,196	390,089	1,065,012



# 税額 (参考例)

給与収入(1人世帯、35歳、固定資産あり(R1平均100,990円))

収入	所得	現行税額	改正案	増加額	増加率
980,000円	430,000円	24,600円	25,600円	1,000円	4.1%

給与収入(4人世帯、35歳夫婦と就学児2人、固定資産あり(R1平均100,990円))

収入	所得	現行税額	改正案	増加額	増加率
5,000,000円	3,560,000円	404,600円	432,200円	27,600円	6.8%

年金収入(1人世帯、65歳、固定資産あり(R1平均100,990円))

収入	所得	現行税額	改正案	増加額	増加率
1,460,000円	360,000円	24,600円	25,600円	1,000円	4.1%

年金収入(2人世帯、65歳夫婦、固定資産あり(R1平均100,990円))

収入	所得	現行税額	改正案	増加額	増加率
3,000,000円	1,900,000円	208,900円	222,200円	13,300円	6.4%